



「ふれあい」は
ホームページ
でもご覧いた
できます



8月 イベントカレンダー

19日 水

山茶花大学前期4回目（大代地区公民館 社会教育事業）

20日 木

大代地区慰霊祭（大代地区コミュニティ推進協議会事業）

グラウンドゴルフ大会と日帰り研修

6月19日（金）、大代第一百寿会で春のグラウンドゴルフ大会と日帰り研修会を、松島のホテルにて同時開催しました。24名の参加でした。

ホテルのグラウンドを借りてのグラウンドゴルフ大会に参加する人、お風呂に入ってくつろぐ人とに分かれ、それぞれを楽しみ、その後全員でホテルの昼食を堪能してきました。

梅雨に入ったばかりの時期で、しかも前日の朝まで雨が降っていましたが、当日は晴天になり、雨上がりの後の蒸し暑さもあり、熱中症の心配があったのですが、皆さん無事にグラウンドゴルフのゲームを終えることができました。



ホテルの昼食、美味しくいただきました！

そして、昼食の前に成績発表を行い、研修会の参加者全員に参加賞が渡されました。

昼食をとりながら談話を楽しみ、お風呂で汗を流し、午後2時半頃にホテルを後にして帰途につきました。

短い時間でしたが、楽しい一時を過ごせたかと思います。

【防災クイズで学ぼう！】

新しくなった「警戒レベル」を知ろう

今年の5月下旬から、大雨のときにテレビやスマホで流れる「気象情報」の案内が新しく生まれ変わりました！

災害から大切な命を守るため、新しくなった仕組みをクイズで確認してみましょう。

Q1 今回、防災気象情報の名前が新しくなった「一番の目的」はどれ？

- ① 難しい気象の言葉を、もっと専門的でかっこいい響きにするため。
- ② 「レベル」の数字を情報名に直接入れることで、私たちが「今、どのような避難行動をとるべきか」を直感的に分かりやすくするため。
- ③ スマホやテレビの画面に、カラフルな数字を表示してにぎやかにするため。



私の答え

Q2 次のうち、「正しいもの」はどれでしょうか？

- ① 「大雨警報」が「レベル3大雨警報」に名前が変わったので、これが出たら「高齢者や避難に時間がかかる人」が避難を始めるタイミングである。
- ② 「避難指示（レベル4）」が出るまでは、どんなに雨が強くても絶対に家から動いてはいけない。
- ③ 避難レベルは、必ず「レベル1」から順番に「2、3、4、5」と順番にひとつずつ発表される。

私の答え

Q3 新しくなった「警戒レベル5」について、正しいのはどれ？

- ① 「レベル5」が出たら、絶対に外に出て避難所へ歩いて行かなければならない。
- ② 「レベル5」はすでに災害が発生しているような状況。「命を守るための最善の行動」をとるタイミングである。
- ③ 「レベル5」の危険情報が出た地域は、必ず全員が無事に救助されることになっている。

私の答え

防災クイズの答え

Q1 ② 解説：これまでは「大雨警報」や「土砂災害警戒情報」と言われても、「自分は今すぐ逃げるべきなのか、まだ大丈夫なのか」がパッと判断しにくいという課題がありました。今回から、情報の名前に直接「レベル4土砂災害危険警報」のように数字が入るようになりました。これにより、「レベル4だから全員避難だ！」「レベル3だからおじいちゃん、おばあちゃんを避難させよう！」と、私たちがとるべき行動と直結して、すぐに判断できるようになりました。

Q2 ① 解説：これまでの「大雨警報」は、新しく「レベル3大雨警報」という名前に変わりました。名前の頭に「レベル3」と付いたことで、「おじいちゃん、おばあちゃん、避難に時間がかかる人は避難を始めるタイミングだな」と、取るべき行動がすぐに分かるようになりました。

Q3 ② 解説：「レベル5（緊急安全確保）」は、すでに災害が発生しているか、極めて差し迫っている、手遅れに近い状況です。ここからの避難は命がけになります。

協力団体紹介

4月号からスタートした大代地区コミュニティ推進協議会の協力団体を紹介するリレー投稿。5回目は、交通安全母の会を紹介します。

大切な家族を、地域を、事故から守るために

「多賀城市交通安全母の会」の活動と大代地区での見守り

「多賀城市交通安全母の会」をご存じですか？私たち母の会は、「市内における女性の交通安全運動を推進し、交通事故のない明るい豊かな社会の実現を図ること」を目的として活動している組織です。

大代地区においては独自の独立した活動はありませんが、地区のメンバーがこの市の活動に深く協力・参加し、大代の安全を守るために日々汗を流しています。また、地域内では小中学生の登校時に自主的な温かい見守り活動を続けてくださっている方もいます。

今回は、私たちの活動の目的や取り組みについて、分かりやすくご紹介します。

■ 主な取り組み（活動事業）

「お母さんの温かい眼差し」をベースに、家庭から地域全体へと交通安全の輪を広げるため、以下のような事業や活動を実践しています。

① 家庭内の交通安全推進

～交通安全は茶の間から～

「いってらっしゃい」「気をつけてね」の一言から始まる、家庭内での交通安全意識の高揚を図っています。

② 交通安全思想の普及と広報

新一年生へのエール：市内の小学校入学時に、安全な登下校を呼びかける「交通安全広報（リーフレット）」をお贈りしています。

③ 小さな頃からの意識づくり：市内の保育所や幼稚園へ、「交通安全ポスター」や「あんしんあんぜんカルタ」をお届けし、遊びながら楽しく安全を学べるお手伝いをしています。

④ 地域のイベントや関係機関との協力

「あやめまつり」など市内のイベントでの交通安全啓発活動や、交通安全協会など関係機関と密に連絡・協調し合い、様々な交通安全活動へ協力しています。

■ 大代地区でも息づく「見守りの目」

大代地区でも、小中学生の登校時にあわせて、交差点や通学路に立ち、子どもたちの安全を見守ってくださっている有志の方々がいます。

「おはよう！」「車に気をつけてね」という地域の方々の声掛けが、子どもたちの安心感をつくり、毎日の安全な登校につながっています。



■ 地域の皆様へのお願い

～家庭から広げる安全の輪～

交通事故をなくす第一歩は、家庭内の「お茶の間」での会話から始まります。

① ご家庭で：「自転車に乗るときは必ずヘルメットを被ろうね」「暗くなったら反射材をつけようね」と、ぜひ声掛けをお願いします。

大代の街から、そして多賀城市から、悲しい交通事故をなくし、明るく豊かな社会を一緒につくっていきましょう！

大代地区の役員

<理事> 伊藤マサ子さん、三浦藤子さん

<地区長>

東区：三浦藤子さん 南区：遠藤真由美さん

中区：伊藤道子さん 北区：菊田百合子さん

西区：齋藤静子さん

♥ 地域のように

町内会の花壇は、夏バージョン！ ～花のまちづくり～

「花のまちづくり事業」で町内会に彩りを添えてくれる4つの花壇。夏も暑さに負けず、花を咲かせています。今年の夏も暑くなりそうですが、花壇が心を癒やしてくれると思います。



大代西町内会 多賀城駐屯地前の花壇
2色(黄・橙)のマリーゴールドとサルビア

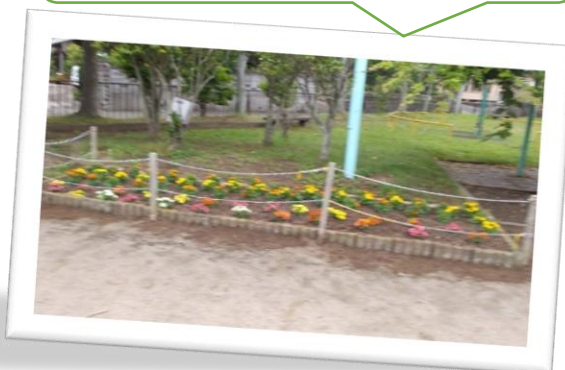


大代南区町内会 中峯北公園の花壇
2色(黄・赤)のマリーゴールド

大代中区町内会 大代橋下北側の花壇
3色(赤・白・ピンク)のペゴニアと
2色(黄・橙)のマリーゴールド



大代東町内会 石ヶ森一号公園の花壇
4色(白・ピンク・黄・紫)の百日草



大代地区水難物故者慰霊祭のご案内

大代地区の伝統行事である慰霊祭を、以下のとおり開催いたします。

開催日時	令和8年8月20日(木) 午後6時30分～午後8時
内 容	西園寺住職による納経
	暁流の奉納舞踊
	夜店出店(予定)
場 所	大代橋本橋 西側特設会場

※ 雨天の場合は大代地区公民館で規模を縮小して実施します。

※ 内容が変更となる場合があります。

次号投稿締切

8月16日(日)

発 行：大代地区コミュニティ推進協議会 広報部
事務局：大代地区公民館

TEL：022-364-8442 FAX：022-364-8453